

# 留学生が見た「震災」

## 秀峰で信大生二人が授業

松本市の松本秀峰中 徒84人に話した。

等教育学校はこのほ 留学生は、中国人の  
ど、信大の留学生二人 劉一凡さん(21、信大  
を1年生の授業に招い 人文学部1年)と、ス  
た。留学生は東日本大 リランカ人のS・M・  
震災に対する海外での ディヌーシャ・ティラ  
受け止め方などを、生 ンガニ・ランブクピテ  
イアさん(34、  
信大学院1  
年)。



劉さんの話を真剣に聞く生徒

3月まで東  
京にいた劉さ  
んは、震災後、  
帰国する外国  
人が急増し航  
空券の値段が  
一時10倍にな  
ったことや、  
中国の家族か

ら「航空券はいくら掛  
かってもいいから早く  
帰って来い」と心配さ  
れたことなどを披露し  
た。

また、公衆電話の前  
に並び順番を待つ人  
や、駅の階段で通路を

確保するために真ん中  
を開けて座る人など、  
中国で話題になった震  
災直後の日本人の写真  
を紹介。「『2008

年の四川大地震の時の  
中国人と比べ、冷静さ  
や秩序に感動した」と

いう人が多い。こんな  
に強い心を持っている  
国民なら必ず復興でき  
る」と話した。

授業は、秀峰と同学  
部が結ぶ「教育に関わ  
る包括的な連携協定」  
に基づき実現した。